



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 上村工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4966 URL <http://www.uyemura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 寛也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 片山 恵嗣 TEL 06-6202-8518
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|------|-------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 22,812 | 11.4 | 3,860 | 28.6 | 3,944 | 40.5 | 2,612 | 10.5 |
| 29年3月期第2四半期 | 20,478 | △16.8 | 3,001 | △2.9 | 2,806 | △10.0 | 2,363 | 33.5 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,686百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △1,785百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 290.21 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 259.72 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 69,795 | 54,574 | 78.2 | 6,062.42 |
| 29年3月期 | 69,703 | 53,636 | 76.4 | 5,912.84 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 54,573百万円 29年3月期 53,228百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 140.00 | 140.00 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 120.00 | 120.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 45,890 | 9.1 | 7,910 | 39.5 | 8,140 | 42.3 | 5,050 | △4.6 | 560.98 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期2Q | 9,878,040株 | 29年3月期 | 9,878,040株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 876,036株 | 29年3月期 | 875,785株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期2Q | 9,002,159株 | 29年3月期2Q | 9,100,213株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外における地政学的リスクの高まり等が懸念されたものの、堅調な米国経済をはじめ、世界経済に緩やかな成長の動きが見られたこともあり、雇用情勢や所得環境の改善が継続し、景気は回復基調で推移しました。

当社グループの主要市場であるエレクトロニクス市場におきましては、スマートフォン、タブレット端末市場は緩やかに成長し、パソコン市場にも持ち直しの兆しが見られました。また、IoTや車載関連、データセンターなどの成長分野においては、各企業間で新製品の開発や提案が活発に行われております。

このような状況の下、当社グループは、収益力の更なる向上を目指して、高付加価値製品の開発と提案並びに拡販活動に注力するとともに、生産性向上の取り組みを強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は228億12百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益は38億60百万円（同28.6%増）、経常利益は39億44百万円（同40.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億12百万円（同10.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 表面処理用資材事業

主力のプリント基板用及びパッケージ基板用めっき薬品の売上高は、スマートフォンやカーエレクトロニクス製品に搭載される電子部品の需要が拡大したことにより増加しました。また、自動車のパワーデバイスや潤滑性が求められる車載製品向けのめっき薬品の販売も引き続き堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は175億24百万円（前年同四半期比15.3%増）、セグメント利益は34億99百万円（同23.9%増）となりました。

② 表面処理用機械事業

景気の回復基調に支えられ、国内外の電子部品及び自動車部品業界における設備投資が堅調に推移し、機械の受注環境が改善したことから、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28億9百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は3億17百万円（前年同四半期はセグメント損失46百万円）となりました。

③ めっき加工事業

主力のタイの連結子会社では、タイの自動車産業が国王崩御による高級品の買い控えによる消費マインドの停滞や輸出の減速の影響を受け、受注が減少しました。

インドネシアの連結子会社では、インドネシア国内経済が安定化し、自動車産業も回復基調となったことから、自動車の外装部品へのめっき加工の受注の増加によって売上高は増加しましたが、難易度の高い大物の受注が増えたため、歩留まりが悪化したことや、受注に対応するための設備の更新などによって生産コストが増加し、利益面では損失が継続しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23億45百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント損失は1億26百万円（前年同四半期はセグメント利益69百万円）となりました。

④ 不動産賃貸事業

オフィスビルの入居率が改善したことや、経費の削減にも努めたことから、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億62百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は2億7百万円（同10.1%増）となりました。

なお、上記のセグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、697億95百万円となりました。主な増加は、建設仮勘定の増加13億52百万円、仕掛品の増加7億50百万円、土地の増加5億43百万円であり、主な減少は、現金及び預金の減少8億22百万円、繰延税金資産（流動）の減少6億66百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億45百万円減少し、152億20百万円となりました。主な増加は、電子記録債務の増加7億69百万円、支払手形及び買掛金の増加3億円であり、主な減少は、未払法人税等の減少4億1百万円、長期借入金の減少94百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億37百万円増加し、545億74百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加13億52百万円であり、主な減少は、非支配株主持分の減少4億7百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.4%から1.8%増加し78.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億16百万円減少し、273億15百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって獲得した資金は30億23百万円（前年同四半期は28億84百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額8億81百万円、たな卸資産の増加額5億2百万円、売上債権の増加額4億46百万円等の資金の使用がありました。税金等調整前四半期純利益39億35百万円、減価償却費9億66百万円、仕入債務の増加額7億32百万円等の資金の獲得があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動において使用された資金は15億10百万円（前年同四半期は9億63百万円の資金の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入10億39百万円等の資金の獲得がありました。固定資産の取得による支出19億47百万円、定期預金の預入による支出5億77百万円等の資金の使用があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動において使用された資金は18億67百万円（前年同四半期は12億31百万円の資金の使用）となりました。これは主に、短期借入金の増加による収入43百万円の資金の獲得がありました。配当金の支払額12億60百万円、子会社の自己株式の取得による支出4億84百万円等の資金の使用があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日（平成29年11月10日）公表の「平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成29年5月12日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしましたので、ご参照ください。

なお、本資料に掲載されております予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 31,254,565 | 30,432,183 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,276,010 | 11,649,506 |
| 有価証券 | 38,960 | 37,347 |
| 商品及び製品 | 2,003,559 | 1,858,129 |
| 仕掛品 | 726,098 | 1,476,504 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,367,844 | 1,245,715 |
| 繰延税金資産 | 976,613 | 309,734 |
| その他 | 1,792,623 | 1,057,775 |
| 貸倒引当金 | △56,210 | △47,165 |
| 流動資産合計 | 49,380,066 | 48,019,731 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 20,153,872 | 20,057,640 |
| 減価償却累計額 | △11,152,340 | △11,358,505 |
| 建物及び構築物 (純額) | 9,001,532 | 8,699,135 |
| 機械装置及び運搬具 | 9,253,396 | 9,388,703 |
| 減価償却累計額 | △7,000,051 | △7,325,072 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 2,253,345 | 2,063,631 |
| 土地 | 4,034,830 | 4,578,132 |
| リース資産 | 220,420 | 228,640 |
| 減価償却累計額 | △114,030 | △115,155 |
| リース資産 (純額) | 106,389 | 113,485 |
| 建設仮勘定 | 996,634 | 2,349,567 |
| その他 | 4,463,226 | 4,529,012 |
| 減価償却累計額 | △3,419,923 | △3,495,236 |
| その他 (純額) | 1,043,302 | 1,033,776 |
| 有形固定資産合計 | 17,436,034 | 18,837,727 |
| 無形固定資産 | 360,424 | 326,043 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,850,579 | 1,926,743 |
| 退職給付に係る資産 | 76,469 | 74,219 |
| 繰延税金資産 | 138,608 | 156,004 |
| その他 | 532,930 | 525,810 |
| 貸倒引当金 | △71,943 | △71,231 |
| 投資その他の資産合計 | 2,526,645 | 2,611,545 |
| 固定資産合計 | 20,323,104 | 21,775,315 |
| 資産合計 | 69,703,170 | 69,795,047 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,994,497 | 2,295,061 |
| 電子記録債務 | 2,581,602 | 3,350,704 |
| 短期借入金 | 820,000 | 861,879 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 235,167 | 179,034 |
| リース債務 | 51,814 | 52,580 |
| 未払法人税等 | 1,904,553 | 1,503,065 |
| 賞与引当金 | 151,154 | 231,741 |
| 役員賞与引当金 | 136,250 | 68,125 |
| その他 | 3,667,002 | 2,015,068 |
| 流動負債合計 | 11,542,042 | 10,557,259 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 220,174 | 125,864 |
| 長期預り保証金 | 574,659 | 588,724 |
| リース債務 | 86,265 | 86,578 |
| 繰延税金負債 | 2,634,092 | 2,772,759 |
| 役員退職慰労引当金 | 179,695 | 183,545 |
| 退職給付に係る負債 | 622,605 | 690,076 |
| その他 | 207,121 | 216,104 |
| 固定負債合計 | 4,524,613 | 4,663,653 |
| 負債合計 | 16,066,656 | 15,220,913 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,336,936 | 1,336,936 |
| 資本剰余金 | 1,321,570 | 1,271,236 |
| 利益剰余金 | 50,003,674 | 51,355,902 |
| 自己株式 | △3,324,935 | △3,326,473 |
| 株主資本合計 | 49,337,246 | 50,637,601 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 824,565 | 874,701 |
| 為替換算調整勘定 | 3,091,036 | 3,083,588 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △23,958 | △21,937 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,891,642 | 3,936,352 |
| 非支配株主持分 | 407,625 | 181 |
| 純資産合計 | 53,636,514 | 54,574,134 |
| 負債純資産合計 | 69,703,170 | 69,795,047 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 20,478,473 | 22,812,010 |
| 売上原価 | 12,797,636 | 14,116,057 |
| 売上総利益 | 7,680,837 | 8,695,952 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,679,433 | 4,835,119 |
| 営業利益 | 3,001,403 | 3,860,833 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 56,098 | 44,493 |
| 受取配当金 | 27,000 | 34,124 |
| 有価物回収益 | 23,168 | 17,880 |
| その他 | 33,219 | 44,287 |
| 営業外収益合計 | 139,487 | 140,786 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,528 | 5,078 |
| 為替差損 | 292,203 | 40,111 |
| 支払手数料 | 6,926 | 7,018 |
| その他 | 21,593 | 4,870 |
| 営業外費用合計 | 334,252 | 57,079 |
| 経常利益 | 2,806,638 | 3,944,540 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,358 | 5,384 |
| 特別利益合計 | 1,358 | 5,384 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 2,072 | 14,542 |
| 特別損失合計 | 2,072 | 14,542 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,805,924 | 3,935,382 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 745,835 | 532,922 |
| 法人税等調整額 | △323,892 | 769,456 |
| 法人税等合計 | 421,942 | 1,302,378 |
| 四半期純利益 | 2,383,982 | 2,633,003 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,363,475 | 2,612,543 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 20,506 | 20,459 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △14,662 | 50,135 |
| 為替換算調整勘定 | △4,157,855 | 1,647 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,943 | 2,021 |
| その他の包括利益合計 | △4,169,573 | 53,805 |
| 四半期包括利益 | △1,785,591 | 2,686,808 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,752,209 | 2,657,098 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △33,381 | 29,709 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,805,924 | 3,935,382 |
| 減価償却費 | 955,765 | 966,901 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 499 | △8,113 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △60,100 | △68,125 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 48,778 | 54,949 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △2,799 | 2,250 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 7,050 | 3,850 |
| 受取利息及び受取配当金 | △83,099 | △78,618 |
| 支払利息 | 13,528 | 5,078 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 714 | 9,158 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 131,504 | △446,937 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △135,025 | △502,557 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △481,530 | 732,395 |
| その他 | 495,198 | △776,764 |
| 小計 | 3,696,408 | 3,828,850 |
| 利息及び配当金の受取額 | 85,861 | 86,306 |
| 利息の支払額 | △12,650 | △9,957 |
| 法人税等の支払額 | △885,254 | △881,539 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,884,364 | 3,023,659 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △3,363,159 | △577,027 |
| 定期預金の払戻による収入 | 3,152,295 | 1,039,372 |
| 固定資産の取得による支出 | △741,369 | △1,947,668 |
| 固定資産の売却による収入 | 6,769 | 9,636 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4,625 | △5,307 |
| その他 | △13,901 | △29,478 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △963,991 | △1,510,473 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 184,074 | 43,211 |
| 長期借入金の返済による支出 | △198,128 | △136,100 |
| リース債務の返済による支出 | △28,024 | △28,336 |
| 自己株式の取得による支出 | △96,611 | △1,538 |
| 子会社の自己株式の取得による支出 | — | △484,693 |
| 配当金の支払額 | △1,092,461 | △1,260,315 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,231,151 | △1,867,773 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,676,566 | △61,733 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △987,344 | △416,320 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,653,188 | 27,731,847 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 22,665,844 | 27,315,526 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------------|---------------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|--------------|--|
| | 表面処理用 資材事業 | 表面処理用 機械事業 | めっき加工 事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,143,681 | 2,541,813 | 2,435,863 | 350,820 | 20,472,178 | 6,294 | 20,478,473 | — | 20,478,473 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 59,505 | 120,914 | 504 | — | 180,924 | — | 180,924 | △180,924 | — |
| 計 | 15,203,186 | 2,662,728 | 2,436,367 | 350,820 | 20,653,103 | 6,294 | 20,659,397 | △180,924 | 20,478,473 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 2,823,617 | △46,340 | 69,292 | 188,210 | 3,034,778 | 5,031 | 3,039,810 | △38,406 | 3,001,403 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------------|---------------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|--------------|--|
| | 表面処理用 資材事業 | 表面処理用 機械事業 | めっき加工 事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,458,156 | 2,640,865 | 2,345,546 | 362,834 | 22,807,403 | 4,606 | 22,812,010 | — | 22,812,010 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 66,693 | 168,592 | 360 | — | 235,645 | — | 235,645 | △235,645 | — |
| 計 | 17,524,849 | 2,809,457 | 2,345,907 | 362,834 | 23,043,049 | 4,606 | 23,047,656 | △235,645 | 22,812,010 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 3,499,472 | 317,708 | △126,678 | 207,144 | 3,897,648 | 3,842 | 3,901,490 | △40,657 | 3,860,833 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。